

令和元年度 事業報告

1. 事業

この法人は、進路指導の普及発展に寄与することを目的として、令和元年度は定款第4条に掲げる下記の事業を行った。

(1) 進路指導に関する調査研究

① 研究委託校の委嘱による調査研究

全国都道府県教育委員会・政令指定都市教育委員会等の推薦を受けて研究委託校を指定し、教育現場における進路指導諸問題の調査研究を推進した。

◆ 平成30年度・令和元年度研究委託校

- 東京都板橋区立中台小学校
- 東京都町田市立忠生中学校
- 神奈川県横浜市立中川西中学校

(2) 進路指導に関する研修会・講演会、研究協議会等の開催

① 第68回 進路指導・キャリア教育研究協議全国大会の開催

- 参加人数 320名

② キャリア研修講座(全8回実施)

- 参加人数 157名

(3) 令和元年度 協会賞・功績者表彰の授賞者の選定について

- 令和元年6月19日(水)協会事務室にて協会賞選考委員会を開催した(該当者なし)。
- 令和元年6月19日(水)協会事務室にて功績者選考委員会を開催選定し、第68回進路指導・キャリア教育研究協議全国大会 開会式において表彰。

公益財団法人 日本進路指導協会会長感謝状贈呈者

国立大学法人 大阪教育大学 准教授	安達 智子 殿
長崎県長崎市立東長崎中学校 校長	今村 勇 殿
東京都荒川区立第七中学校 校長	近江 貞之 殿
元 埼玉県川口市立県陽高等学校 教諭	小境 幸子 殿
神奈川県立弥栄高等学校 教諭	小島 喜與徳 殿
前 愛知県立愛知商業高等学校 校長	福島 敏雄 殿
北海道北見市立常呂中学校 校長	山中 高弘 殿
前 東京都世田谷区立尾山台小学校 校長	渡部 理枝 殿

(4) 進路指導に関する関係諸団体との連絡提携

① 進路指導研究協議全国大会における連携

前記の全国大会の開催については、その計画・立案の段階から、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会(以下全中進という)、全国高等学校進路指導協議会(以下全高進という)、ならびに日本キャリア教育学会(以下学会という)との密接な連携のもとに進めており、第42回全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議大会、第44回全国高等学校研究協議大会を兼ねる形で実施した。

また、この事業は文部科学省の後援をいただいたほか、次の諸団体の後援をもち

ただいた。

東京都教育委員会	全国都道府県教育長協議会
全国連合小学校長会	全日本中学校長会
全国高等学校長協会	日本私立中学高等学校連合会

② 機関誌「進路指導」の編集についての連携

機関誌「進路指導」は何よりも現場教師の指導に役立つものでなければならない。そのため小・中・高の進路学習の実践モデルを連載するなど、新企画の編集について 全中進・全高進の積極的な協力を得て推進した。

③ 日常活動における関係団体との連携

研究活動はもとより、必要な情報の交換・共有等のため独立行政法人労働政策研究・研修機構、(財)産業雇用安定センター、全国商業高等学校長協会、全国工業高等学校長協会、全国農業高等学校長協会等多くの関係団体との連携を図った。

(5) 進路指導に関する資料の収集及び展示

① 研究委託校の調査研究資料の収集・展示

研究委託校における研究成果は、2 か年の委託期間が満了した折、報告書として提出される。その資料は一部を機関誌「進路指導」で紹介し、他は整理・保管し、関係者の求めに応じて閲覧に供してきた。

② 研究協議会等における資料の収集・展示

全国大会あるいは地区進路指導研究大会等に出席の折、進路指導諸資料の収集や協会出版物の展示・頒布に努めてきた。

(6) 進路指導に関する図書、資料、雑誌の出版及び推薦

① 機関誌「進路指導」の出版・推薦

協会発足の昭和2年に機関誌「職業指導」として発刊を始め、昭和39年から「進路指導」と名を変えて出版・刊行してきた。平成20年度から月刊を季刊に改めた。本年も継続し全国小・中・高・大等現場の教育者への購読を推奨してきた。

第92巻 第2号(夏号・令和元年6月1日)

第92巻 第3号(秋号・令和元年10月1日)

第92巻 第4号(冬号・令和元年12月1日)

第93巻 第1号(春号・令和2年3月1日)

② 副読本「中学生活と進路」の推薦

「中学生活と進路」の採択・普及に努めた。

③ その他の書籍の出版・推薦・普及

文部科学省(旧文部省)の刊行物では「中学校・高等学校進路指導の手引(各編)」及び「中学校(高校学校)進路指導資料(第2・3分冊)」について、広く全国の進路指導関係者に頒布・推薦してきた。

すでに刊行している小学校キャリア教育実践講座(三村隆男著)、キャリア教育Q&Aワーク(中学校編・鹿嶋研之助監修)、キャリア教育のエッセンス(吉田辰雄監

修)の普及に努めた。

(7) 進路指導に関する研究委託校の決定と指導援助および助成

① 研究委託校の選定

公益財団法人 日本進路指導協会研究委託校規程に基づき、都道府県・政令指定都市の教育委員会に推薦を依頼して委託校を決定した。平成30・令和元年度研究委託校は、下表のとおりである。なお本年度は小中連携あるいは中高連携をねらいとして選定した。

- ◎ 東京都板橋区立中台小学校 「自分も周りの人も幸せにするための力を育てる」
〒174-0064 東京都板橋区中台 1-9-7 Tel. 03-3932-6327
- ◎ 東京都町田市立忠生中学校 「夢と誇りを持ち自己実現を目指す生徒の育成」
〒194-0035 東京都町田市忠生 3-14-1 Tel. 042-791-0821
- ◎ 神奈川県横浜市立中川西中学校 「生徒指導に卒業生の追指導を生かす工夫」
〒224-0001 神奈川県都筑区中川 2-1-1 Tel. 045-912-1270

② 研究委託校への指導援助と助成

研究委託校の要請に基づいて、研修会、発表会・研究会等に指導のための講師を派遣し、その経費を負担している。

平成30・令和元年度研究委託校に対し、研究実践成果報告書の提出をまって、その作成謝金として1校当たり30,000円を交付する。

(8) 児童・生徒の進学・就職に関する進路選択等の指導・援助

年間を通して進路選択に関する本人あるいは保護者の相談は多い。電話による相談が大半であるが、時には来所相談もある。本人の在籍校で相談を深めることを基本として、それぞれの悩みに対応した指導援助にあたってきた。

(9) 進路指導に関する政府の諮問に応ずること。政府その他機関に対する意見の提出

協会は文部科学省の施策に全面的に協力する立場から、常に教育現場に生ずる進路指導上の問題を把握し、必要に応じて参考意見を述べ、調査研究に協力してきた。

(10) その他目的を達成するために必要な事業

小学校キャリア教育研究会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、全国高等学校進路指導協議会、日本キャリア教育学会、その他諸関係団体と協力し、進路指導・キャリア教育の交流・発展に努めた。